

平成15年11月6日

各位

会社名 株式会社 ヨコオ
代表者名 代表取締役社長 徳間 順一
(コード番号 6800 東証第一部)
問合せ先 経理部次長 真下 泰史
TEL: 03-3916-3111

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成15年8月12日の第1四半期業績の概況発表時に公表いたしました連結業績予想及び平成15年5月14日の決算発表時に公表いたしました単体業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成16年3月期中間期連結業績予想の修正(平成15年4月1日~平成15年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成15年8月12日発表)	12,500	1,023	400
今回修正予想(B)	12,850	975	545
増減額(B-A)	350	48	145
増減率(%)	2.8	4.7	36.3
<ご参考> 前期(平成15年3月期中間期)実績	11,882	546	157

2. 平成16年3月期連結業績予想の修正(平成15年4月1日~平成16年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成15年8月12日発表)	25,000	2,132	910
今回修正予想(B)	25,500	1,950	1,120
増減額(B-A)	500	182	210
増減率(%)	2.0	9.1	23.1
<ご参考> 前期(平成15年3月期)実績	23,818	1,362	473

3. 平成16年3月期中間期単体業績予想の修正（平成15年4月1日～平成15年9月30日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想（A） （平成15年5月14日発表）	10,100	584	138
今回修正予想（B）	11,250	660	200
増減額（B - A）	1,150	76	62
増減率（％）	11.4	13.0	44.9
<ご参考> 前期（平成15年3月期中間期）実績	10,611	396	103

4. 平成16年3月期単体業績予想の修正（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成15年5月14日発表）	21,300	1,284	516
今回修正予想（B）	22,000	1,230	520
増減額（B - A）	700	54	4
増減率（％）	3.3	4.2	0.8
<ご参考> 前期（平成15年3月期）実績	21,006	818	186

5. 修正の理由

中間期の売上高については、車載通信機器事業、回路検査機器事業、無線通信機器事業とも順調に推移し前回発表値をほぼ確保できました。

車載通信機器事業では国内市場でのETC車載機用アンテナの拡大と車載TV用フィルムアンテナの新規投入が寄与致しました。回路検査機器事業では国内外半導体市場の回復に伴い、BGAソケット及びICUが回復して参りました。

経常利益については、3事業分野とも市場での価格引き下げニーズはあったものの、新規製品投入とコストダウンの実施でほぼ予想値の確保ができましたが、VSA T事業からの完全撤退に伴い、保有部材約1億円の廃棄処分を行いました。また、急激な円高により為替差損が発生したことにより、連結では前回発表値を確保することが出来ない予想です。

純利益については、有価証券評価損の発生を約3.5億円予想しておりましたが、保有有価証券の売却促進と期末株式市場の回復などから約2.3億円にとどめられたことにより単体・連結とも前回発表値を上回る利益確保となりました。

通期の売上高予想については、下期は不需要期に当たりますが中間期水準を予想しております。下期も来期以降の成長に備え、海外マーケットフロント体制強化及び製品開発技術体制強化を更に強力に推進するため経常利益については、中間期水準で計画しております。

純利益については、有価証券評価損が大幅に減少することを踏まえ、連結では前回発表値を20%以上上回る予想をしております。

（注）上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上